

2019年度 奈良市民走ろう会方針

村上 和宏

私が、会長に就任させてもらって早1年が過ぎました。その際に、方針として述べさせてもらったのが、以下の通りです。

『奈良市民走ろう会の規約第2条に本会の主旨・目的として、「本会は走ることを楽しみ、走ることを通して健康の増進と体力づくりを目指し、併せて会員相互の親睦を図る。」とあります。入会される方の動機も、「フルマラソンを完走できるようになりたい。」「タイムを少しでも伸ばしたい。」「走る仲間を作りたい。」「健康のために走りたい。」など、ニーズは多様であります。この目的を活動の基本としながら、様々な会員のニーズに応えられる幅広い活動を目指していきたい。』

この方針に基づいて、会員のニーズにこたえられる幅広い活動の展開を目指してきましたが、十分に活動できたとは言えないのではないかと考えます。従って、今年度も引き続きこの立場で具体的な取り組みを進めます。

昨年度の新しい取り組みとして、例会時に走りの基本となる体幹を鍛えるトレーニングと、3000mの記録会を持つことができました。また、出場目標であった金剛葛城駅伝に1チーム、出場することができました。今年度も、これらの取り組みを続けます。

さて、入会の動機は様々であっても、多くの会員の方は、「もっと長く走られるようになりたい」「もっと速く走られるようになりたい」との思いで、例会などの練習会に来られていると思います。その思いに応えるために、我々の活動の基本である例会を魅力のある充実したものにしていきます。そのために練習会メニューの工夫やランニング講習会などいくつかの新しい取り組みを具体化していきます。

本会の大きな行事として、平城京新春マラソンがあります。来年は、実に36回目を迎えます。一市民ランナーの会だけで、これだけ長い間マラソン大会を続けているのは、全国でみても稀有なことと思います。これは、ひとえに歴代の会員の方や皆様の献身的な努力の賜物だと思っています。しかしながら、今、全国的には、地方の大会や短い距離の大会がなくなったり、参加者が減ってきたりしています。厳しい状況の中、伝統あるこの平城京新春マラソン大会をこれからも続けるため、参加者を増やす手立てや工夫を考えていきます。引き続き、会員のご協力をお願いしたい。

《今年度の重点活動方針》

- ① 奈良市民走ろう会が市民ランナーの模範となるよう、会員は社会的・公共的マナーを守る。また、安全管理マニュアルに基づいたランニングの練習を行い、事故やケガが無いように気を付ける。
- ② 会員それぞれのニーズや思いを実現する幅広い活動を展開し、会の更なる活性化を図っていく。そのために、行事の見直しや新しい取組みを実現していく。
- ③ 魅力ある充実した例会を探求していく。また、会員の走力向上を図り、故障をしない練習のあり方を追求する。そのために、体幹トレーニングやランニング講習会などを計画する。
- ④ 第36回平城京新春マラソン大会をより魅力があり、おもてなしの気持ちを込めた大会にする。
- ⑤ 会員同士が切磋琢磨をしたり、親睦を図ったりする中で、よりチーム力を発揮し発揮し、団結力を感じられるような会の運営を目指す。

《報告》毎年、奈良マラソン実行委員会から奈良市民走ろう会へ2件、協力依頼をされています。

奈良マラソンランニングクリニックの講師補助と奈良マラソンボランティアです。今年度も、担当者を決め、依頼に応じていきます。